

どこを見ているとも、 注意が必要な人・物・情報に辿り着ける 気付きのガイド

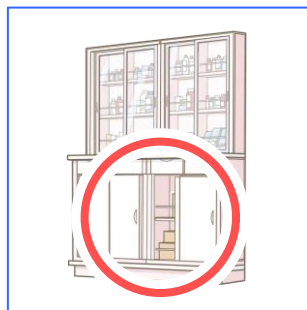
視覚的注意誘引システム※

2025-10-30

現場に存在する労働安全衛生上のリスクは、
気付けないからリスクになる



ベッド柵のつけ忘れ



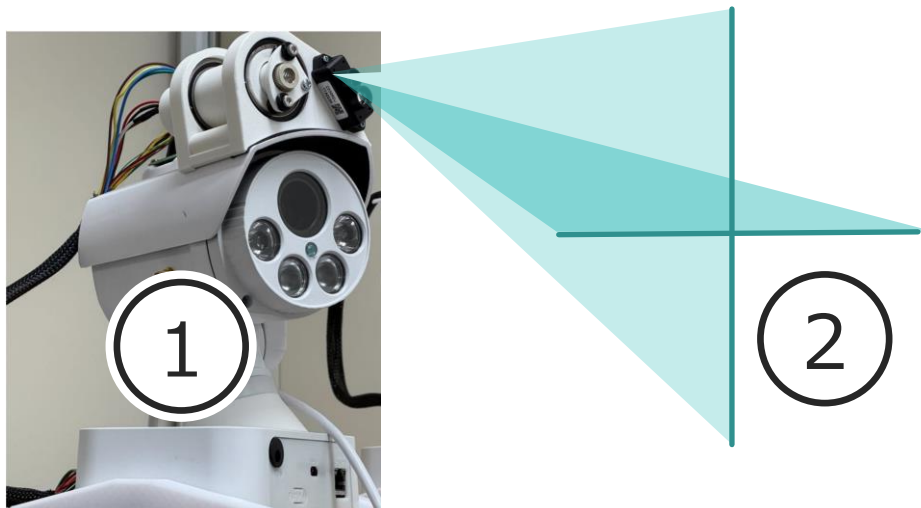
戸棚の閉め忘れ

人間の注意能力の要は目に入ること。
本システムは視線が注意対象に向いていなくても
空間にガイド線を引いて視線を誘引します。

■ 仕組み

- ① カメラで注意対象認識。
- ② 室内の壁や天井など
全方位に注意対象への
ガイドとなるライン
レーザーを表示。

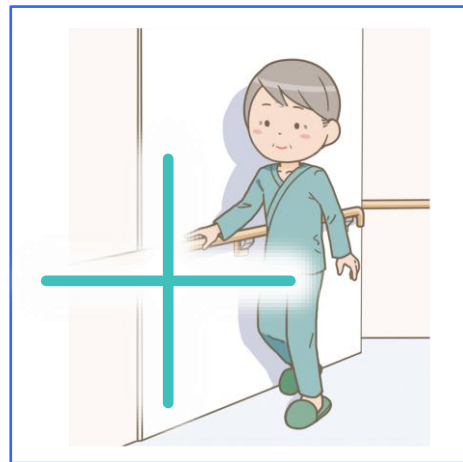
→ ガイドを辿って
注意すべき対象に
人が気付いたら、ガイド
をストップする。



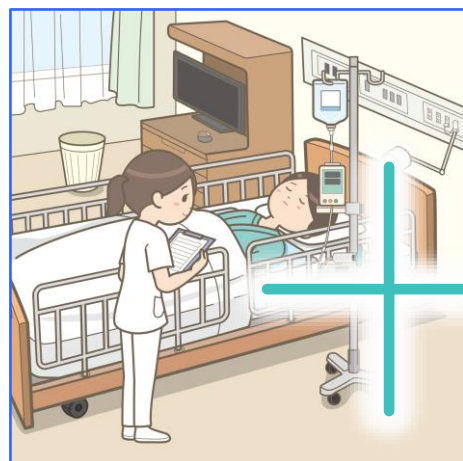
※ 特許第7433604号 注意喚起システム、及び注意喚起装置
東京都中小企業振興公社・令和5年度新製品・新技術開発助成事業採択

■ ユースケース

- A) ケアが必要な人を指し示す。
スタッフの注意がケアが必要な施設利用者から逸れた際に、ケアを促すように指し示すことができます。
※ 本システムは人の顔にレーザーが当たりそうになった場合は照射を止める安全機構を搭載しています。



- B) 機器、機材のセッティングの見逃しを抑制する。
患者に様々な処置をしたあと、元々設定されていた機器の接続や設定値を元に戻し忘れないように、注意を向けさせることができます。



- C) 作業手順や注意などの掲示物に意識を向けさせる。
重要な掲示物に対しては、色使いや文字サイズ、マークなどによる強調で注意を向けさせる施策がとられますが、目に入らなければ効果がありません。本システムはレーザー光によるガイドを室内空間に表示することで掲示物に意識を向けさせることができます。

